

子どもの学習環境（ICT）について

1 現在の取組状況

(1) 環境整備

児童生徒用タブレットや大型提示装置の配備、AIドリルの導入や中学校におけるプログラミング教材の導入、教師用デジタル教科書の導入などを実施。

(2) 児童生徒用タブレットの持ち帰り状況

全小・中学校にて長期休業中のタブレット持ち帰りを実施。

学期中の持ち帰りについては、小・中学校の計4校にて毎日の持ち帰りを実施中。その他の学校においても、週に数回持ち帰りを実施中。

2 令和5年度の取組

(1) 教育DX推進員の配置

①事業概要

ICTに精通した現職教諭（北海道教育委員会職員）を割愛人事し、芽室町教育委員会に「教育DX推進員」として配置することで、町のICT教育の指針を充実させ、ICT教育の授業改善・推進を図る。

②目的

子どもの確かな学力と社会の変化に対応できる力の育成のため、各学校が個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図るために、ICTを活用し、30人学級やめむろ未来学など他の必要な事業と一体的に取り組むことで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す。

③業務内容

i 町のICT教育指針の充実

「芽室町教育委員会 ICT整備・活用指針」第4章を充実させる。

ア 令和4年度：指針の策定

イ 令和5年度：指針の実証

ウ 令和6年度：指針の定着・事業化

ii 授業改善

ア ICT活用モデルの集約と情報共有

イ ICTに係る研修の推進

ウ 小中が一貫した情報教育を実施するための取組

エ ソフトウェア・ICT機器の導入検討

(2) GIGA スクール構想環境整備

①事業概要

GIGA スクール構想の実現に向け、令和2年度に策定した「芽室町教育委員会 ICT 整備・活用指針」に基づき、情報活用能力を、言語能力と同様に「学習の基礎となる資質・能力」と位置付け、ICT を活用したあらゆる学習を実現するため、実際の運用に向け必要な経費を計上する。

特に、授業における ICT 活用推進のため、前段の教育 DX 推進員を道教職員から割愛するとともに、ICT ヘルプデスクを民間委託し設置する。

②整備内容

i 教材・教具支援事業（小学校・中学校）（学校管理費）（単位：円）

No.	科目名	令和5年度	
		内容	予算額
1	参考図書（デジタル教科書）※新型コロナ	教師用デジタル教科書の購入に係る費用 小学校：2学年（5・6年生）×7教科×4校 中学校：3学年（1～3年生）×7教科×3校	2,197,800
2	通信回線料	児童生徒専用のインターネット回線に係る通信回線料	1,025,640
3	コンピューター保守点検委託料	生徒用端末に係る保守点検委託料 月250円×12ヶ月×1,856台×消費税	6,124,800
4	ICTヘルプデスク委託料	GIGAスクール運用支援ヘルプデスク業務委託料 月額9,300円×12か月×1.1×7校	859,320
5	情報端末ライセンス使用料	生徒用端末に係るフィルタリングサービス使用料 年1,680円×1,856台×消費税	3,429,888
6	学習支援ソフト使用料	生徒用端末で使用するA Iドリル使用料 月600円×1,538人×12ヶ月×消費税	12,180,960
		生徒用端末で使用するプログラミング学習教材使用料 年2,200円×179人（中学校3校 第1学年） 教員サポート費33,000円×3校	492,800
7	授業目的公衆送信権使用料	インターネット経由で著作物を教育利用する使用料 小学校：年120円×986人×消費税 中学校：年180円×552人×消費税	239,448
8	無線LAN最適化装置購入	校内のネットワーク環境を最適化する無線LAN最適化装置の購入 芽小1台 西小1台 芽中1台 合計3台	2,899,600

令和5年度 予算額合計 29,450,256円 (29,451千円)

ii 令和5年度当初予算以外の施策

No.	名称	内容	予算額
1	GIGAスクール関連備品購入（令和4年度3月補正）	大型提示装置（電子黒板）の購入、校内ネットワーク設定委託 芽小1台 芽中2台 合計3台	1,675,300
2	教育支援ソフトの導入	令和5年度にロイロノートを無料トライアルする。 使用効果が見込まれば、令和6年度からの予算化する予定。	0